



電子化医療情報を活用した疾患横断的コホート研究情報基盤整備事業 H29年度～

【使命】 単一疾患予防にとどまらない、健康寿命延伸の要因の解明に向けた6NC研究連携基盤の構築。

NC-CCAPH
National Center
Cohort
Collaborative for
Advancing
Population Health
(NC-CCAPH)



エビデンスづくりの連携

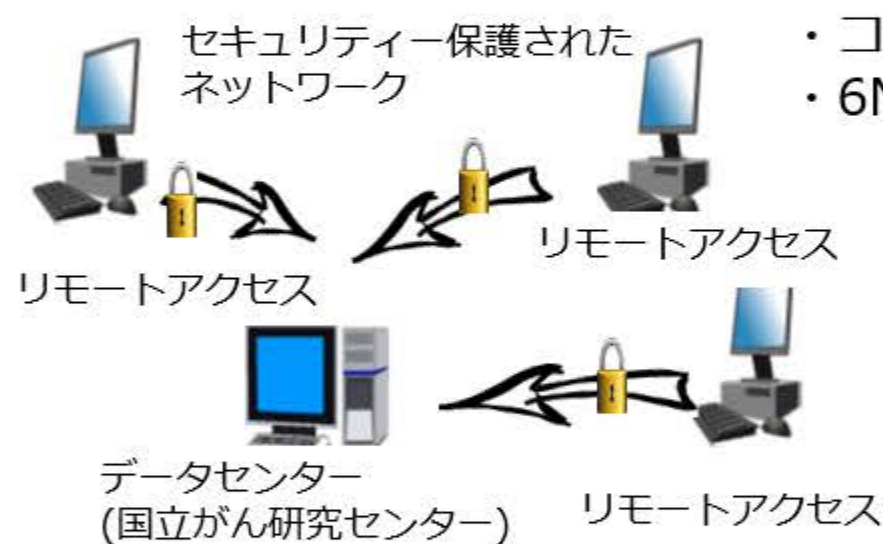
予防指針づくりの連携

H29 (2017) 年度

解析の連携拠点 (国立がん研究センター) 連携解析・統合解析に向けたオンサイト・リモートアクセスシステム基盤を設置。

健康寿命延伸提言 作成連携 6NC共同による作成ワーキンググループ

H30 (2018) 年度～



- ・コホートの相互利用による解析
- ・6NCの合同解析

- ・疾病予防と本態解明に資するエビデンス
- ・単一疾患予防にとどまらない最適な生活習慣の提示

- ・既存の予防指針の情報共有
- ・最適な生活習慣の整理
- ・連携基盤によって創出されたエビデンスの活用

コホート研究名	対象人数	対象疾患
JPHC	約13万人	がん・循環器・糖尿病等
JPHC-NEXT	約11.5万人	
がん検診受診者	約1.5万人	がん
吹田研究	約0.8万人	心筋梗塞・脳卒中等
J-ECOH研究	約10万人	労働者・生活習慣病
SGS	約1.9万人	老年症候群等
NILS-LSA	約0.4万人	認知症・運動器障害等
成育母子コホート	約0.2万人	小児疾患・成育環境等
成育コホート	約0.2万人	

今後の展開

- (2020年頃) 疾患総合的な健康寿命延伸のための指針提言
- (2025年頃) 電子化医療情報等を活用した研究の推進
- (2030年頃) ガイドラインの政策への導入・疾病予防による医療経済評価・社会格差・社会保障制度と健康に関するエビデンスの構築

国民の健康寿命の延伸